

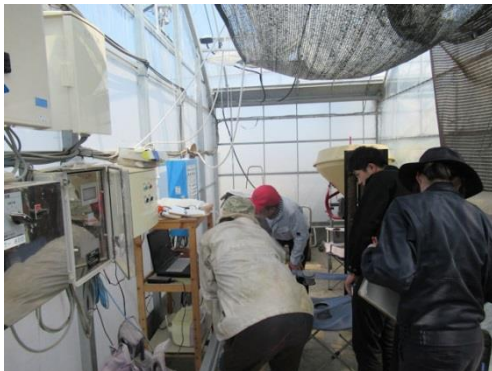
## 普及現地情報

### ナス栽培における熊本標準化環境制御装置マニュアル の検討（熊本）

J A 熊本市では、県がメーカーとともに開発した「熊本標準化高度環境制御装置」を、ナス栽培農家3戸で検討しています。ナスの栽培管理に合わせた本装置の季節ごとのハウス内設定値を検討するため、11月から月に1回程度、メーカー、J A、県により、設置農家のハウス内環境の自動設定値が栽培環境に合うように調整してきました。4月8日に、4月以降の高温期の設定値の検討を行い、今後、ハウス内環境やナスの生育を確認していく予定です。

本年度は、本装置とパソコンを接続し、「ハウス内環境の継続的な見える化」やデータ蓄積、灌水装置と本装置をつなげることによる日射比例式自動灌水の検討も行いました。設置農家からは、今までの勘に頼った灌水方法から「土壌水分の見える化」により、「灌水の考え方が変わってきた」、「冬場の灌水は多すぎている」という意見が出てきています。今後、関係機関と設置農家で実証していく等、更に環境制御の高度化を図っていきます。

農業普及・振興課では、全国トップのナス産地として、ハウス内環境制御を徹底することにより、ハウス内環境の適正化による生産性の向上や省力化等産地の活性化を支援していきます。



関係機関による設定値の検討



高度環境制御装置利用時の草姿

関連する普及課題名：施設野菜の高度生産技術の確立支援

県央広域本部 農林部 農業普及・振興課

野菜づくり支援班

鶴田 伸二